

平成29年度中間決算について

本州四国連絡高速道路株式会社の平成29年度(第13期)中間決算についてお知らせします。

1. 決算概要

2. 決算資料

[個別決算]

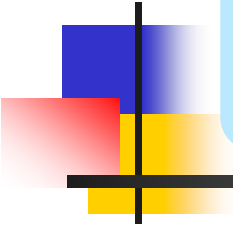
- ・ 中間貸借対照表
- ・ 中間損益計算書
- ・ 中間株主資本等変動計算書
- ・ 個別注記表

[連結決算]

- ・ 中間連結貸借対照表
- ・ 中間連結損益計算書
- ・ 中間連結株主資本等変動計算書
- ・ 連結注記表

※当社の中間決算は、金融商品取引法に基づいて作成したのではなく、
情報開示等の目的で任意に作成したものです。

平成29年12月22日
本州四国連絡高速道路株式会社



平成29年度中間決算概要

(平成29年4月1日～平成29年9月30日まで)

- 平成29年度事業概要
- 平成29年度経営状況及び財政状態(連結・個別)
- 平成29年度業績見通し(連結・個別)

事業概要(高速道路事業)

お客様に**[安全]** **[安心]** **[快適]**に利用していただけるよう、円滑に業務を実施しました。

- 当中間期の通行台数は前年同期比2.4%増の2,228万台となり、料金収入は前年同期比2.1%増の337億円となりました。
- 独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構への道路資産賃借料の支払額は234億円となりました。
- より安全・安心・快適にご利用いただくため、道路巡回、路面清掃、適切な情報提供などの管理に努めるとともに、アセットマネジメントの考え方により、舗装補修、長大橋塗替塗装、耐震補強などの構造物修繕工事を計画的かつ効率的に実施しています。

舗装補修(西瀬戸自動車道)



長大橋塗替塗装(瀬戸大橋)



耐震補強(瀬戸中央自動車道)



事業概要(関連事業)

- 「瀬戸内の海と島と橋が生み出す『非日常空間』」をコンセプトに、SA・PAのリニューアル及びサービスの改善等を実施しました。また、各種イベントを積極的に実施し、お客様サービスの向上に取り組みました。
 - 淡路島南PA(上り)、与島PA(上下一体)の休憩施設をリニューアル中
 - 明石海峡大橋通行台数2億台達成記念イベント等の各種イベント
- 長大橋の建設・管理技術を活用して、JICA((独)国際協力機構)、地方公共団体から長大橋技術支援業務等を受託しました。
- 地方公共団体から高速道路上における跨道橋点検業務等を受託しました。

明石海峡大橋通行台数2億台達成記念イベント



跨道橋点検(兵庫県受託)



経営状況の総括

(平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)

➤ **中間純利益 51億円 (対前期比：+29億円)**

単位：億円

	連結中間決算				個別中間決算			
	平成29年度	平成28年度	増(△)減	対前年増減率 (%)	平成29年度	平成28年度	増(△)減	対前年増減率 (%)
営業収益	357	351	6	1.8	349	343	6	1.8
営業費用	334	320	13	4.3	325	313	12	3.8
営業利益	23	31	△7	△24.2	23	29	△5	△20.2
経常利益	24	32	△7	△23.2	25	30	△4	△13.9
中間純利益	51	21	29	135.6	52	19	33	172.1

※平成29年度中間決算の中間純利益には、厚生年金基金代行返上に係る特別利益等約35億円が含まれております。

[連結対象子会社]

会社名	主な事業
JBハイウェイサービス(株)	休憩所等事業、料金收受管理、交通管理
(株)ブリッジ・エンジニアリング	点検管理、長大橋維持修繕、道路修繕
JBツールシステム(株)	料金收受機械保守整備、料金収入・交通量のデータ管理

高速道路事業の損益状況

- 営業利益 20億円 (対前期比: $\Delta 7.8$ 億円)
- 料金収入 337億円 (対前期比: $+7$ 億円)
- 機構への道路資産賃借料 234億円 の支払い

単位: 億円

	連結中間決算				個別中間決算			
	平成29年度	平成28年度	増(△)減	対前年増減率 (%)	平成29年度	平成28年度	増(△)減	対前年増減率 (%)
営業収益	343	338	4	1.4	343	338	4	1.2
料金収入	337	330	7	2.1	337	330	7	2.1
道路資産完成高	4	7	$\Delta 2$	$\Delta 37.7$	4	7	$\Delta 2$	$\Delta 37.7$
その他の売上高	1	0.4	0.7	173.3	0.8	0.9	$\Delta 0.0$	$\Delta 9.7$
営業費用	323	310	12	4.1	319	308	11	3.5
道路資産賃借料	234	222	12	5.4	234	222	12	5.4
道路資産完成原価	4	7	$\Delta 2$	$\Delta 37.7$	4	7	$\Delta 2$	$\Delta 37.7$
管理費用	84	80	3	4.6	80	78	1	2.4
営業利益	20.0	27.9	$\Delta 7.8$	$\Delta 28.1$	23.2	30.0	$\Delta 6.8$	$\Delta 22.8$

関連事業の損益状況

➤ 営業利益 3.4 億円 (対前期比 : +0.3 億円)

単位: 億円

	連結中間決算				個別中間決算			
	平成29年度	平成28年度	増(△)減	対前年増減率 (%)	平成29年度	平成28年度	増(△)減	対前年増減率 (%)
営業収益	14	13	1	10.1	6	4	2	48.6
休憩所等事業	9	9	△0.0	△0.3	2	1	0.3	15.6
受託事業等	5	3	1	35.0	4	2	1	76.4
営業費用	11	10	1	10.2	6	4	1	23.7
休憩所等事業	6	6	△0.3	△5.3	1	2	△0.4	△21.6
受託事業等	5	3	1	36.1	4	2	1	63.0
営業利益	3.4	3.1	0.3	9.9	0.2	△0.6	0.9	—
休憩所等事業	3.3	3.0	0.3	10.2	0.4	△0.3	0.7	—
受託事業等	0.1	0.1	0	3.4	△0.2	△0.3	0.1	—

財政状態(貸借対照表)

(平成29年9月30日現在)

単位:億円

区 分	連結中間決算			個別中間決算		
	平成29年度 (中間期末)	平成28年度 (期末)	増(△)減	平成29年度 (中間期末)	平成28年度 (期末)	増(△)減
資 産	563	570	△7	484	492	△7
流動資産	334	319	14	310	299	11
固定資産	229	250	△21	174	193	△19
負 債	315	386	△71	267	327	△60
流動負債	138	135	3	125	129	△3
固定負債	176	250	△74	141	198	△56
純資産	248	184	63	217	165	52
株主資本	260	209	51	217	165	52
資本金	40	40	0	40	40	0
資本剰余金	40	40	0	40	40	0
利益剰余金	180	129	51	137	85	52
その他の包括利益累計額	△12	△24	12	—	—	—
(負債・純資産合計)	563	570	△7	484	492	△7

平成29年度業績見通しについて

➤ 当期純利益 連結：43億円 個別：38億円

単位：億円

	連結業績見通し			個別業績見通し		
	平成29年度 (業績見通し)	平成28年度 (決算)	増(△)減	平成29年度 (業績見通し)	平成28年度 (決算)	増(△)減
営業収益	813	762	51	796	743	52
高速道路事業	765	710	55	765	710	55
関連事業(うち休憩所等事業)	48(16)	51(16)	△4(△0.5)	30(4)	32(3)	△3(1)
営業費用	808	751	56	795	741	54
高速道路事業	765	706	59	765	709	56
関連事業(うち休憩所等事業)	42(13)	44(11)	△3(1)	30(4)	32(3)	△2(1)
営業利益	6	10	△5	0.4	2	△2
高速道路事業	0	3	△4	0	1	△2
関連事業(うち休憩所等事業)	6(4)	7(5)	△1(△2)	0.4(0.1)	0.6(0.2)	△0.2(△0.2)
経常利益	10	14	△5	3	5	△2
当期純利益	43	25	17	38	18	20

※1. 平成29年度業績見通しについては、当社が現時点において入手可能な情報に基づき作成したものです。

※2. 平成29年度業績見通しの当期純利益には、厚生年金基金代行返上に係る特別利益等約35億円が含まれております。

※3. 平成28年度決算の当期純利益には、平成29年度に発生する厚生年金基金代行返上益に係る法人税等調整額約15億円が含まれております。